

＜ 農 業 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	果 樹	学 年 ・ コ ー ス	3 年 生 ア グ リ カ ル チ ャ	単 位 数	2 単 位	教 科 書	果 樹 (実 教 出 版)
学 習 の 到 達 目 標		1. 果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させる。 2. 果樹の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。					
評 価 の 観 点	A 知識・技術		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度		
評 価 の 内 容	果樹生産と経営に関する基礎的な技術を身に付け、果樹の特性や果樹の生産に適した環境、品質と生産性の向上、経営の改善について理解している。		果樹生産と経営に関する諸課題について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。		果樹生産と経営について興味・関心を持ち、果樹の生産性の向上及び経営の改善について探求しようとしている。 地域の課題解決や振興や社会貢献に向けて、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 実習記録用紙 ・ 実習への取組状況 ・ 課題提出 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や実習での態度 ・ 定期考査 ・ 小テスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習記録用紙 ・ 実習への取組状況 		
学 期	月	単 元 名 ・ 小 単 元 名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点	
1 学 期	4	<果樹の種類と果樹栽培の動向> 果樹の種類と果実の利用 果樹栽培の動向	○栽培されている果樹の種類と栽培の現状を理解させる。 ○果樹の生産量と消費量の動向を理解させる。 ○果実の輸出入の現状を知り、果樹栽培を考えさせる。			○	○
	5	<果樹の生育と栽培環境> 果樹の生育と生理	○果樹の一生について、そのあらしを学ばせる。 ○開花と結実、果実の成長について理解させる。			○	○
	6	果樹栽培と環境	○果樹の生育と気候・土壌・栄養・水分の関連を理解させる。			○	○
	7	施設栽培と特殊栽培	○我が国における果樹の施設栽培の動向とその特徴を学ばせる。			○	○
2 学 期	8・9	<カンキツ> 栽培上の特性と品種 生育のすがたと栽培管理	○生産費及び収益性について学校を例に理解させる。 ○経営計画を各自に立てさせ、理解させる。 ○栽培する際、考慮しなければならない点を表にし、理解させる。			○	○
	10	収穫・選別・出荷・貯蔵と加工	○各品種の特徴を理解し、貯蔵方法の違いを理解する。			○	○
	11	植え付けと更新	○苗木の定植や接ぎ木の方法を理解する。 ○栽培管理を一覧表にまとめる。			○	○
	12	<キウイフルーツ> 栽培・経営上の特性	○キウイフルーツの適地を実際に調査し、理解させる。			○	○
3 学 期	1	<果実の流通と改善>	○栽培管理を一覧表にまとめ、理解させる。			○	○
	2						
	3						
学 習 の ポ イ ン ト		1. 実習による実体験を通し、積極的・協力的な態度で取り組む。 2. 安全面から必ず実習服、実習帽、長靴を着用すること。 3. 分からないことや疑問に思ったことはその都度質問する。					